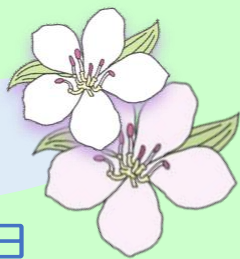




センターTOPICS



令和6年9月8日～13日

東京農業大学ボランティア部 外来種駆除作業（父島編）

9月8日～12日の5日間、東京農業大学ボランティア部による活動の一環として、父島のオガグワの森、宮之浜園地及び大神山公園において、学生33名が環境省、東京都、小笠原村、小笠原総合事務所国有林課の協力のもと外来種駆除作業を行いました。当ボランティアは平成17年から開始し、今回で16年目を迎えました。令和元年の実施以降は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見合わせており、本年2月にも来ていただきましたが夏のボランティアは4年ぶりの開催です。期間中は天候にも恵まれ、オガグワの森ではダンチク、キバンジロウ、アレカヤシの伐採を、宮之浜ではギンネムの伐採、大神山公園ではイソフジの間引きやクサトベラの植栽などを行いました。東京農業大学ボランティア部の皆さんは2週間近く滞在される方もおり、引き続き母島での活動を行います。（母島編に続く）



小笠原世界遺産センターでの説明



オガグワの森での小笠原村職員からの説明



キバンジロウ駆除



集合写真（おがさわら丸前）



オガグワの森でのダンチクの伐採



宮之浜でのギンネム駆除



宮之浜でのトラノオの間引き



大神山公園でのクサトベラ植栽



大神山公園でのイソフジの間引き



集合写真（前浜）